



科学の不思議を体験

かがく実験教室「魔界のスライムを作ろう」

小学生を対象に毎月行われている「かがく実験教室」が6月28日(日)に学びの杜ののいち カレードで開催されました。子どもたちは、水にホウ砂を溶かした“魔法の水”や、せんたくのりなどを慎重に量り、かき混ぜて4種類のスライムを作成しました。“日光大好きスライム”を作成後、スライムを持って外に出てみると、白色のスライムが太陽光を浴びて紫色に変色！ その様子を見た子どもたちは「紫になったー！」「見て見てー！」と大興奮。科学への興味が深まる時間になりました。

スマホを活用していつまでも元気に スマホ体験教室

7月2日(休)、23日(休)の2日間、郷公民館でスマートフォンの体験教室が行われました。1回目となった7月2日(休)は脳の健康維持アプリ「脳にいいアプリ」の使い方を学習しました。このアプリは歩数計測、食事の管理、脳トレなどの機能があり、フレイルや認知症の予防に役立つとされています。参加者は貸し出されたスマートフォンを実際に操作し、それぞれの機能を体験しました。中でも脳トレは人気で「意外と難しい」「これならできる」と、皆さん楽しそうに取り組んでいました。



パズルや間違い探しなどで楽しく脳トレが出来ます。



◀ 錫杖 (しゃくじょう)



錫杖は、県内で数点しか出土していない珍しいものです。

文化財からひも解く中世の歴史

文化財企画展「出土品が語る、中世野々市の暮らし」

市内の発掘調査で見つかった出土品を通じて、中世の人々の暮らしを紹介する展示が5月26日(火)から7月5日(日)までふるさと歴史館で行われました。市内で発掘された出土品から、錫杖など普段は見ることでない約60点を展示。住む、食べる、祈る、働く、楽しむの5つのテーマに沿って、当時使われていた食器や仏具、農耕具などが並べられていました。現代と変わらずお茶や囲碁を楽しんでいた中世の“野々市人”を身近に感じることができる機会となりました。

体を動かすって楽しい！ わくわく運動教室

市スポーツセンターで、6月17日～7月15日の毎週水曜日に全5回でわくわく運動教室が開催されました。小学1～3年生を対象に運動に親しむことを目的に行われています。今回は主にボールと縄跳びを使って体を動かしました。参加した14人の子どもたちは、ドリブルをしたりボールを頭上に投げてキャッチしたりしながらコーン標識の間を進むボール運動や、縄跳びとじゃんけんを組み合わせたゲームを楽しんでいました。



他の日には、マットや跳び箱などを使った運動も行われました。

まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎ 227-6056

みんなが笑顔で過ごせますように カミーノセタフェスティバル

6月27日(土)、にぎわいの里ののいち カミーノでセタフェスティバルが開催されました。会場には笹を模した5メートルのウォールツリーが飾られ、「アイドルになれますように」「孫たちの願いが叶いますように」など、多くの人が願い事を書いた短冊をつるしていました。そのほか、恒例の子ども縁日や世界のカブトムシ・クワガタ展、ステージ発表、各種ワークショップなど多くの催しが来場者を楽しませました。さらに今年はパトカー・白バイ乗車体験が行われ、子どもたちは普段はできない貴重な体験に目を輝かせていました。

①カラフルな絵の具を使ってオリジナルうちわを作ります。
②願い事、叶いますように。③白バイにまたがって気分は警察官！④タブレットを使ったオリジナルのゲーム作り。
⑤大きなカブトムシに興味津々！⑥すがはらクラブによるジャグリングの披露で会場は大盛り上がり！



青葉を彩る色とりどりの絵手紙

絵てがみ展 風薫る 公園の木立

野々市中央公園の「ののいち椿館」で、6月19日(金)～24日(水)に絵てがみ展が開催されました。この作品展は、ツバキが咲かない夏にも椿館に足を運んでもらおうと、郷公民館絵手紙サークルの協力のもと、毎年開催されています。会場にはツバキの絵のほか、街の風景や猫など、さまざまな絵がツバキの青葉を彩りました。来場者からは「こういった取り組みがあると施設が身近に感じられていい。ツバキが咲いている時期にまた来たい」との声が聞かれました。



気持ちのこもった言葉が添えられた優しい絵が並びます。

身近な旬の食材で心と体を元気に 薬膳 cooking きらり料理教室

6月26日(金)、学びの杜ののいち カレードで料理教室が開催され、10人の参加者が「鶏むね肉のさっぱり彩りソース」など、計3品を作りました。料理には、湿気と暑さで体が疲れる梅雨の時期に合わせ、体の中の熱や余分な水分を排出するトマトやキュウリなどの食材が多く使われました。参加者は「さっぱりしていておいしい」「薬膳と聞くと珍しい食材を使った難しい料理を想像するけど、特別なものがなくても作れることが分かった」と満足そうに話していました。



大葉やレモンを使った夏らしい爽やかな料理ができました。